

あいであ & アイデア**子牛用産科ワイヤーの替わりの「ヘッドループ」でお産上手**

壱岐市家畜診療所 阿部紀次

子牛の出産を手助けするアイデアを紹介します。

当診療所では、胎子の頭を確保する時に、市販の子牛用産科ワイヤーの代わりに登山用のザイルロープを使った手製の「ヘッドループ」で好感触を得ています。

作り方

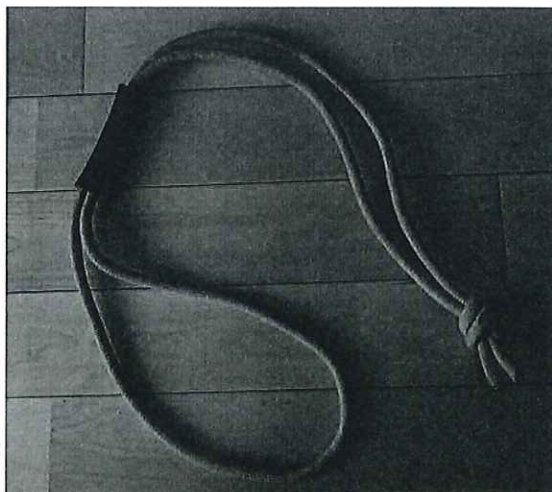
作り方は以下の通りです。

- ①10mm太きのザイルロープ（登山用のクライミングロープ）を通販等で購入し、2mの長さで切り、断端を焼いておきます。
- ②内径18mmのホースを購入し、10cm切ります。
- ③断端の方から入れ込みます。

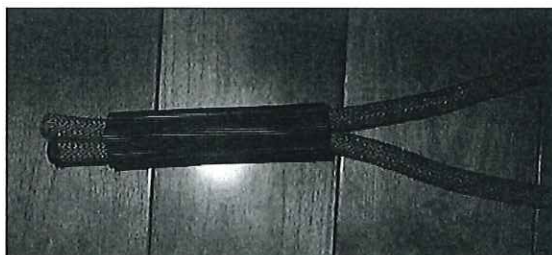
そして、断端を1回結ぶだけです！（写真2）

これで十分に子牛用産科ワイヤー（写真3）の替わりになります。

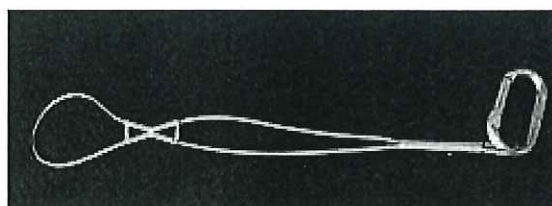
手製の「ヘッドループ」は、生体に（子宮にも子牛にも）優しいので、思い切り引っ張れますし、汎用できるのではないのでしょうか。



(写真1) ヘッドループ



(写真2) ホースを入れ込んだところ



(写真3) 子牛用産科ワイヤー

最も避けたい“人工難産”であるところの「逆子と思って引っぱったら頭が横を向いていただけだった＝重度側頭位」を回避したいものです。そして、“お産上手”になるためにも、まずは自分で手を入れて頭を正しくしっかり探して、必要ならすぐにこの「ヘッドループ」を使って頭を確保することはお産介助の上達の一助になるはずです。

ザイルロープはコシがあるので子宮内の操作も良好です。また、吸水しないので清潔に保てるのも利点です。

ワイヤーの金具が外れる事も、しばらく使わなくて錆びる事ありません！

さらに言えば、90cmの長さだと、いわゆる産科テープとの長さの調和が良く、滑車を使った時、両手と頭の3点で引っぱることができます。

使い方

まず最初に頭が余裕で入るほどの輪を作り、子牛の後頭部、耳の後ろに輪を掛けます（片耳ずつ、両方行います）。次にアゴの下でホースを絞ります（締めすぎる必要はない）。外から軽く引っ張りながら、もう一度両耳の後ろにちゃんと掛かっているか確認して下さい。



(図1) ヘッドループをかけた子牛

注意点

- ・早すぎる介助は控えましょう（ただし、積極的なチェックはOK!）。
- ・清潔に行いましょう（産科グッズの清潔な保管、直腸検査用手袋の着用）。

へそくりくんのブログ

<http://ameblo.jp/abenorinori/>

「ヘッドループ」でブログ内検索すると出てきます。

（あべ のりつぐ 壱岐市家畜診療所医局長）